

状 況 写 真

区分 指示

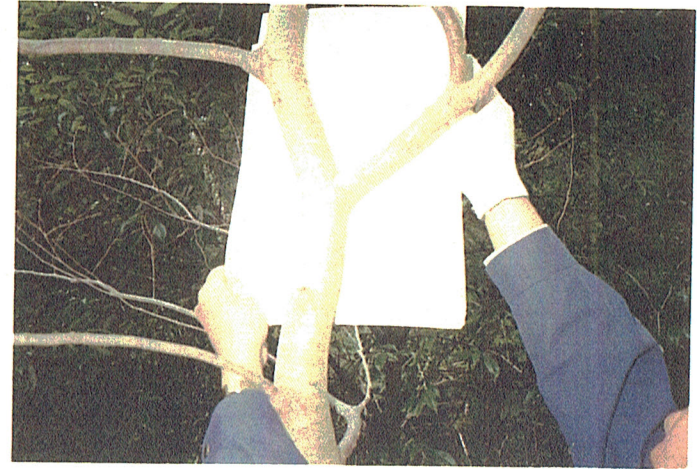
鄰城 宮林署

(様式6)

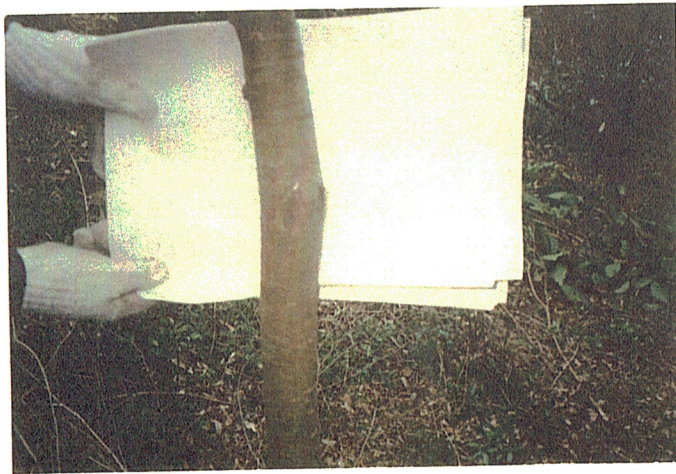
木07



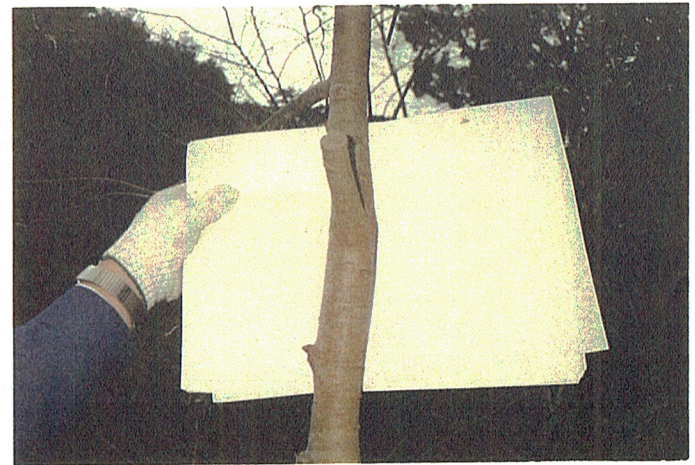
枝打前



枝打前



枝打行



枝打後

状 況 写 真

区分 指示

薮城 営林署

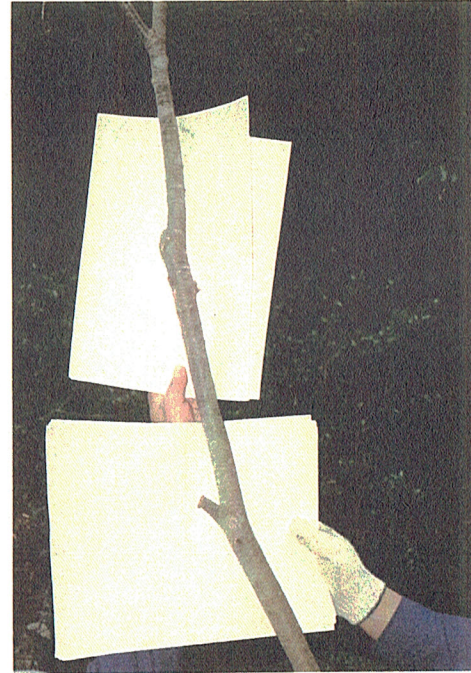
(様式6)

木口

枝竹前



枝竹後



状 況 写 真

区分 指示

都 府 営 林 署

(様式6)

河引老

前



後



状 况 写 真

区分 指示

郡 域

営 林 署

(様 式 6)

可引色

前



後



平成6年 技術開発実施報告

様式2

都城営林署

課題 広葉樹用材林育成技術体系の確立〔有用広葉樹（ケヤキ）天然更新法〕							
継続。新規	担	造 林 課	開 発 箇 所	都城営林署	開 発 期 間	平成5年度	
指示 自主 任 意	当					平成14年度	
年度別実施経過				平成6年度実施報告			
1. 試験地設定 (1) 時期 昭和58年5月 (2) 場所 遅霧国有林30ち林小班 (3) 面積 4.99ha (昭和58年度伐採跡地) 2. 調査事項 (1) 定着試験区稚樹発生調査 (昭和59年度～平成2年度) (2) 植生調査(昭和59年度) 3. 施行区設定(昭和60年度) (1) 刈出区 5プロット (2) 無刈出区 5プロット (3) ぼう芽整理区(昭和63年度) 4. 有用樹(ケヤキ)刈出し 1. 70ha(昭和62年度) 1. 54ha(昭和63年度) 5. 枝打試験地設定(平成5年度) ・袋かけ 2本 ・木ロウ 2本 ・無し 1本 6. 除伐試験地設定(平成5年度) 天然ケヤキ自生地での刈出し 7. ぼう芽木間引試験地設定(平成5年度) ぼう芽木を間引き(2本) 8. 保育(刈出し, つる切) (平成元年度～平成2年度) 9. 保育(つる切) 2.40ha 臨時10人				平成6年度は実行なし			

状 況 写 真

区 分	指 示
-----	-----

都 城 営 林 署

(様式6)

(240枚)

参考

つる切



技術開発実施報告

様式2

都城営林署

課題	広葉樹用材林育成技術体系の確立〔有用広葉樹（ケヤキ）天然更新法〕					
継続・新規	担	造 林 課	開 発 箇 所	都城営林署	開 発 期 間	平成5年度
(指示) 自主 任意	当					平成14年度
年度別実施経過			平成7年度実施報告			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験地設定 <ul style="list-style-type: none"> (1) 時期 昭和58年5月 (2) 場所 遅霧国有林30ち林小班 (3) 面積 4.99ha (昭和58年度伐採跡地) 2. 調査事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 定着試験区稚樹発生調査 (昭和59年度～平成2年度) (2) 植生調査(昭和59年度) 3. 施行区設定(昭和60年度) <ul style="list-style-type: none"> (1) 刈出区 5プロット (2) 無刈出区 5プロット (3) ぼう芽整理区(昭和63年度) 4. 有用樹(ケヤキ)刈出し <ul style="list-style-type: none"> 1. 70ha(昭和62年度) 1. 54ha(昭和63年度) 5. 枝打試験地設定(平成5年度) <ul style="list-style-type: none"> ・袋かけ 2本 ・木ロウ 2本 ・無し 1本 6. 除伐試験地設定(平成5年度) <ul style="list-style-type: none"> 天然ケヤキ自生地での刈出し 7. ぼう芽木間引試験地設定(平成5年度) <ul style="list-style-type: none"> ぼう芽木を間引き(2本) 8. 保育(刈出し, つる切) <ul style="list-style-type: none"> (平成元年度～平成2年度) 9. 保育(つる切) <ul style="list-style-type: none"> 2.40ha 臨時10人 10. 歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> (平成7年度) 臨時5人 			<ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> 臨時5名 			